



かがやけ！王子っ子

㊦んがえる子 ㊦んばる子 ㊦さしい子 ㊦んこうな子

東京都北区立王子小学校

校長 原田 英孝

令和5年5月31日

◆来校の際には、必ず、ネームプレートを着用し、受付をお通りください◆

「おはようございます」

副校長 西脇 輝久

朝、同じ敷地内の王子街道を小学生と中学生が並んで登校してきます。いつ見てもとても微笑ましいです。ふと考えてみると、他の学校にはない王子小学校ならではの光景なのかもしれません。そんな王子小学校で4月から一緒に働き始めた先生方にインタビューしました。

質問1 「ここが素敵！王子小学校！」どこが素敵？

- ・校庭が広く、校舎も大きい。だから、子供たちが伸び伸び活動できること
- ・子供たちが人懐こく、明るい。とても子供らしいこと
- ・元気に外で遊んだり、室内で過ごしたり、思い思いに休み時間を楽しんでいること
- ・授業中、たくさんの意見や「はっ」とするような考えが出ること
- ・授業で、「わかった！」という表情がたくさん見られること

㊦おきくて とてもきれいな校舎

㊦れしいことや 楽しいことがたくさんある

㊦っくり一生懸命 頑張れる子がいっぱい

質問2 さらに素敵な王子小学校にするためには？

- ・先生に対してだけではなく地域の方、上級生・下級生にも進んであいさつができたらいいな
- ・㊦おきな声でハキハキ毎日㊦きうきすごせる㊦ぶんからチャレンジできる子が増えたらいいな
- ・今よりもっと王子地区のよさや伝統に詳しくなったら、それは素敵なことだと思います

先日、2年生が1年生を連れて学校案内をしていました。素敵なかかわりがたくさん見られました。もっと素敵な王子小にするために、わたしも、あいさつから始めていこうと思います。

インタビュー協力 1-3 森みのり先生 4-1 徳山秀明先生 5-3 西片俊夫先生 養護 宇田川優香先生

6月の行事予定

1日(木)	委員会	16日(金)	図書ボランティア読み聞かせ
2日(金)	水曜時程		遠足(3年)
5日(月)	全校朝会	17日(土)	土曜授業公開日
6日(火)	5年生岩井自然体験教室前日健診		いのちの安全教室
7日(水)	音楽朝会 避難訓練 フォローアップ教室	21日(水)	図書集会 フォローアップ教室
8日(木)	音楽鑑賞教室(6年)	22日(木)	なかよし班活動
	5年生岩井自然体験教室始		さくらだこども園との交流(5年)
10日(土)	5年生岩井自然体験教室終	23日(金)	社会科見学(6年)
12日(月)	振替休業日(5年)水泳指導始	26日(月)	安全指導
13日(火)	都学テ(4年)	27日(火)	4年生移動教室(那須)前日健診
14日(水)	集会 フォローアップ教室 学校ファミリーの日 (午前授業)	28日(水)	午前授業 校内研究全体会 フォローアップ教室
15日(木)	クラブ活動	29日(木)	委員会活動 おはなしの会(1年) 4年生移動教室(那須)始
		30日(金)	おはなしの会(2年) 4年生移動教室(那須)終

2 年 生



5月18日（木）、突然、真夏になったような日に、2年生はあらかわ遊園へ遠足に行ってきました。学校行事としては初めての電車移動（東京さくらトラム）を経験し、あらかわ遊園内では、グループで乗り物に乗ったり、動物と触れ合ったりしました。

グループ行動では、事前に相談して決めていた計画表を頼りに、友達と声を掛け合い、地図や乗り物を見ながら楽しそうに回っていました。グループの友達同士がバラバラにならないように、互いに声をかけあい、上手に過ごすグループが多く、成長を感じました。

動物広場では、ヤギや亀を触ったり、普段は見ることのできない動物や鳥を間近で見ることができ、興奮する様子も見られました。

暑い日でしたが、子どもたちにとって、実りったようです。



5 年 生

5年生は、5月19日（金）の3・4時間目に苗を植えました。まず、保護者の方にご協力いただき、10L前後のバケツを用意していただきありがとうございました。

苗植えの準備は、屋上の菜園での土づくりから始めました。雑草抜きや根をよける作業を丁寧に、赤玉土、黒土、腐葉土を入れて、肥料たっぷりの土をつくりました。その後は、一人一人がバケツに土7Lほど入れて水を入れました。これで準備は完了です。

次に苗植えに入りました。生活協同組合のパルシステム東京の方に出前授業で、来ていただきました。どのようにお米ができるのかをお米ハンドブックを使って教えていただき、育苗された元気な苗をもらって、いざ苗植えです。

屋上に上がると、しろかき（土の塊を砕いてやわらかい土にして平らにする作業）から始めます。苗植えの時には、進んで泥だらけ腕になる子供もいれば、手を入れるのを嫌がる子供もいましたが、全体的には楽しんで取り組む児童が多くいました。また、農家さんの苦勞を感じた子供も多くいました。これからの社会の学習を並行して、10月のまでお世話をしていきます。

収穫の際には、脱穀作業やもみすり作業の授業にもパルシステム東京の方に来ていただく予定です。自分で作った稲がうまく育てば、ご飯茶碗一杯分になるそうです。豊作になるように願いつつ、みんなで協力してお世話をして育てていきます。

